

単 元

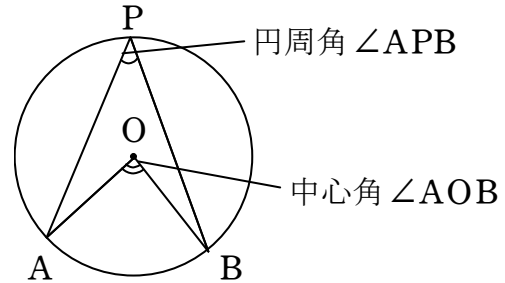
年 組 番

3年「円の性質」

氏名

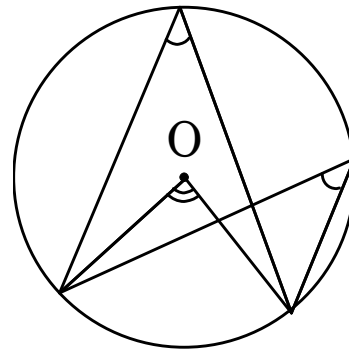
円周角と中心角

右の図の円  $O$  で、 $\widehat{AB}$  を除いた円周上に点  $P$  をとるとき、 $\angle APB$  を、 $\widehat{AB}$  に対する えんしゅうかく 円周角とといいます。



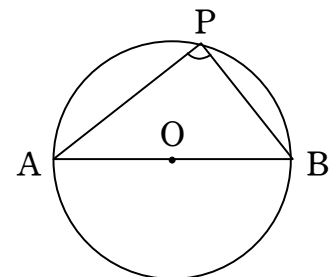
円周角の定理

- ① 1つの弧に対する円周角の大きさは、その弧に対する中心角の大きさの半分である。
- ② 同じ弧に対する円周角の大きさは等しい。



半円の弧に対する中心角の大きさは  なので、

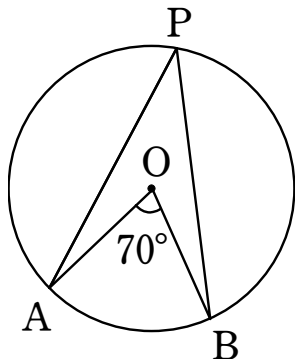
そのときの円周角 ( $\angle APB$ ) の大きさは、 である。



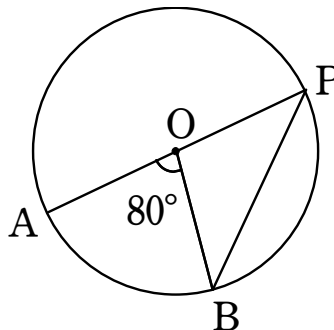
単 元	年 組 番	9 問
3 年「円の性質」	氏名	

1 下の図で、 $\angle APB$  の大きさを求めなさい。

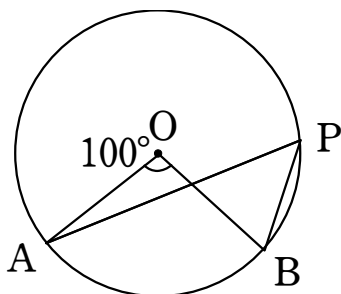
(1)



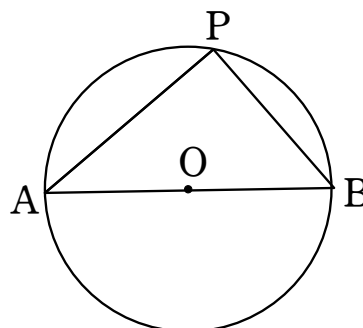

(2)




(3)




(4)



線分 AB は直径

2 右の図を見て次の問いに答えなさい。

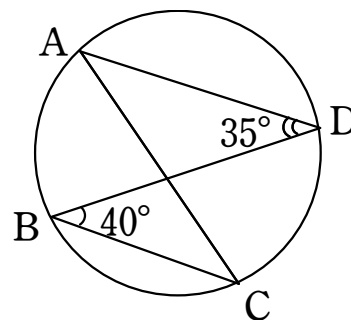
同じ弧に対する円周角の大きさは等しいので

$\widehat{AB}$  に対する円周角より、

$$\angle ACB = \angle \boxed{\phantom{000}} = \boxed{\phantom{000}}$$

同様に、 $\widehat{BC}$  に対する円周角より、

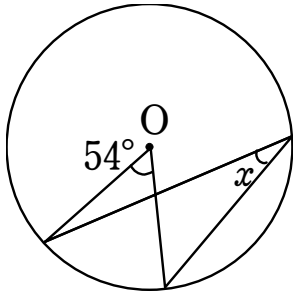
$$\angle CAB = \angle \boxed{\phantom{000}} = \boxed{\phantom{000}}$$



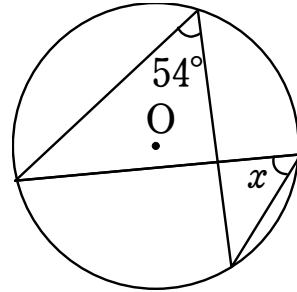
単元	年組番	8問
3年「円の性質」	氏名	

1 下の図で、 $\angle x$  の大きさを求めなさい。

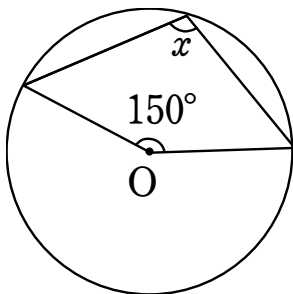
(1)



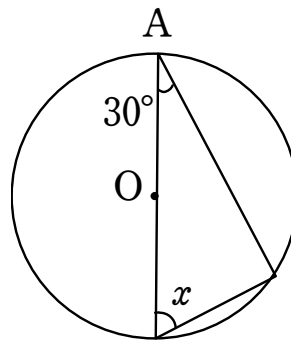

(2)




(3)




(4)



線分ABは直径

2 右の図を見て $\angle C$ の大きさを求めなさい。

$\angle x =$   ① より、

$\angle y = 360^\circ -$   ①  $=$

よって、 $\angle C =$

また、 $\angle A + \angle C =$

